

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-263816(P2005-263816A)

【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2005-038

【出願番号】特願2005-178235(P2005-178235)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4545 (2006.01)

A 6 1 K 9/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/46 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4545

A 6 1 K 9/26

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/46

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月20日(2007.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

体積平均粒子径4.5～50.0 μ mの塩酸ベニジピン結晶およびポリビニルアルコールまたは部分けん化ポリビニルアルコールを含有することを特徴とする塩酸ベニジピン含有錠剤。

【請求項2】

体積平均粒子径および個数平均粒子径が4.5～30.0 μ mの塩酸ベニジピン結晶およびポリビニルアルコールまたは部分けん化ポリビニルアルコールを含有することを特徴とする塩酸ベニジピン含有錠剤。

【請求項3】

塩酸ベニジピンの含有量が錠剤中0.01～50質量%である請求項1または2記載の錠剤。

【請求項4】

コーティングされていることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の錠剤。

【請求項 5】

体積平均粒子径4.5～50.0 μ mの塩酸ベニジピン結晶およびポリビニルアルコールまたは部分けん化ポリビニルアルコールを含有することを特徴とする塩酸ベニジピン含有造粒物。

【請求項 6】

体積平均粒子径および個数平均粒子径が4.5～30.0 μ mの塩酸ベニジピン結晶およびポリビニルアルコールまたは部分けん化ポリビニルアルコールを含有することを特徴とする塩酸ベニジピン含有造粒物。